

きずな



我孫子市少年センター便り 第195号

我孫子市少年指導員連絡協議会 会長 深津祥子

我孫子市少年センター センター長 佐藤友一

電話 7185-1367 FAX 7182-5867

清々しい初夏を迎え、木々の緑も日増しに深くなってまいりました。4月から新年度がスタートし、市内では、小学校795名（令和7年4月10日時点）、中学校915名（令和7年4月9日時点）の新入生を迎えました。

新年度が始まり、子どもたちは気持ちを新たに学習・行事・部活動等に一生懸命に励んでいます。我孫子市少年センターは、子どもの健全育成のために、保護者や地域の皆様とともに今年度も活動していきたいと思ひます。

地域の子供たちに「愛の一声」をかけていただくとともに、気になることがありましたら、少年センターまでご連絡ください。いつでもご相談にのらせていただきます。

我孫子市少年センター・職員紹介



センター長 佐藤 友一

センター職員 小山 真平

センター職員 佐藤 幸男

センター職員 松尾 奈緒美

我孫子市少年センターではこんな活動をしています

1. 我孫子市の少年をめぐる現状と課題を把握し、改善方策を立案する。

- 学校と連携し、現状を把握する。
- 広報紙・HPを活用し、社会の中での規範意識を醸成するよう啓発及び情報提供をする。

2. 我孫子市の少年が、良好な社会環境の中で自立できるように環境づくりに努める。

- 我孫子警察と連携し、少年の飲酒・喫煙・薬物乱用防止のため巡回を行う。
- 情報メディアを悪用した犯罪に巻き込まれないように少年に届くメッセージを送る。

3. 我孫子市の少年が、社会の中で良好な人間関係を築けるように指導する。

- 我孫子市少年指導員が、関係機関と連携して街頭指導や一斉活動を行い、夕刻の帰宅指導や交通マナー遵守等の指導を行う。

〈1～5月の不審者情報（少年センター発信）〉

もしもの時は…

【我孫子中区】

- ・ 声かけ4件
- ・ 聞き出し1件
- ・ 追いかけて1件
- ・ 不審な行動3件

【湖北中区】

- ・ 聞き出し1件

【久寺家中区】

- ・ 追いかけて1件
- ・ 不審な行動4件

【布佐中区】

- ・ 不審な行動3件

【白山中区】

- ・ 声かけ2件
- ・ 不審な行動1件

【湖北台中区】

不審者情報なし

①危ないと思ったらすぐに逃げましょう。

「あれ？この人不審者かな？違うかな？」と少しでも感じたら、その場を離れましょう。

②声をかけられたら、しっかり断りましょう。

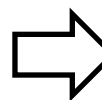
③近くの人に助けを求めましょう。

④大人（保護者等）は、ためらわず110番通報してください。

※下校時の通学路で、長時間の立ち話をしていませんか？そんな子どもたちの姿を見ている人がいるかもしれません。まずは、被害に遭わない行動を日頃から心がけましょう。

千葉県警察

「子供の安全対策動画」



地域みなで見守りを！ ～こども110番の家・我孫子市子ども見守り隊～



「こども110番の家」は、我孫子市のPTA連絡協議会が「子どもを不審者から守ろう」「安心して生活できる街づくりの推進」を目的として創設しました。昨年度の登録数は550件、利用件数は165件でした。避難場所を確保すると同時に、地域で子どもを見守ろうという意識の高揚を図る目的もあります。我孫子市及び少年センターもこの趣旨に賛同し、地域に理解と協力・連携を呼び掛けています。

↑「こども110番の家」看板

また、今年度の「我孫子市子ども見守り隊」の小学校での登録者数は783名（新規99名）です。隊員は発行された隊員証を下げ、日々子どもたちの登下校を見守っています。

年度途中の登録もできますので、各小学校にお問合せください。



← 子ども見守り隊隊員証

交通安全や誘拐防止への意識を ～「交通安全じゅうちょう」寄贈・誘拐防止教室の実施～



今年度も、ボラス株式会社様より市内小学校1年生に「交通安全じゅうちょう」が寄贈されました。このノートを手にするときに、少しでも交通安全について考えてもらえればよいと思います。また4月下旬には、市内小学校1年生を対象に、「誘拐防止教室」が開催されました。警察、防犯指導員、少年指導員が協力し、合言葉の「イカのおすし」を確認しました。子どもたちは、自分の身を守るために大切なことを、楽しく勉強しました。新入生たちが通学路を安全に登下校できるよう、学校とともに地域でも見守りをしていきたいと思います。



SNS 利用についての講演 ～SNS 楽しさ怖さ 紙一重～(我孫子市 SNS 標語)

5月22日（水）、湖北中学校2年生を対象にSNS利用についての講演会を行いました。今回は、「SNSの不適切な投稿トラブル」をテーマに中学生にも自分のSNS利用と併せて考えてもらいました。

「自分の写真を友だちに勝手に投稿されてしまった」という経験がある生徒がおり、自分の身を守ることはもちろん、友だちも守るために、どのようなルールに従って利用しなければならないのか、生徒のみなさんは真剣に考えていました。ネット上の画像や動画データは一生消えることのない“デジタルタトゥー”として、永遠とまとわりついてくるかもしれない恐ろしさを、知っておきましょう。

少年センターでは、小中学校から講演の依頼を受け付けています。

